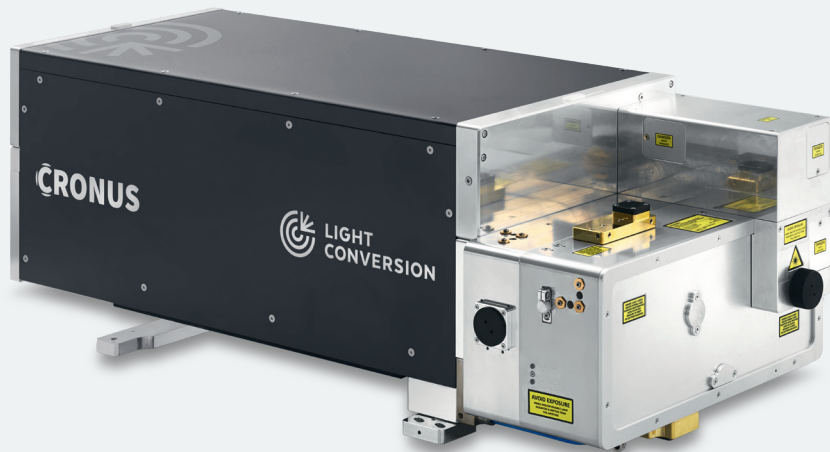


先進的な 非線形顕微鏡用のレーザ光源



ディープイメージング用の
高いパルスエネルギー

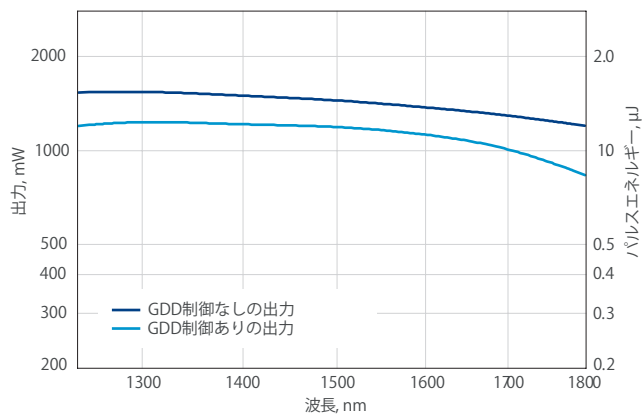
1250~1800nmの波長可変範囲で、
3Pイメージングに対応

最短50 fsのパルス幅で、
高いピーク出力を達成

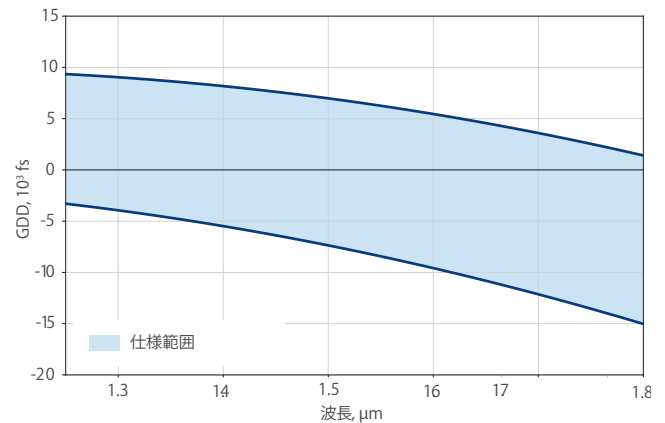
波長とGDDの自動制御で、
簡便な操作性を実現

市場をリードする
パルスエネルギー安定性

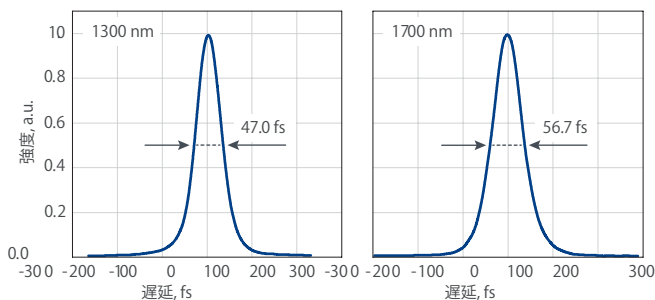
出力およびパルスエネルギーと波長の関係（1MHz時）



GDD制御範囲



パルス幅典型値（波長：1300 nmと1700 nmの場合）



モデル	CRONUS-3P		CRONUS-3P (出力制御機能付き)	
波長可変範囲 ¹⁾	1250 – 1800 nm			
繰り返し周波数 ²⁾	シングルショット～1MHzまたは2MHz			
	1300 nm	1700 nm	1300 nm	1700 nm
パルス幅	< 50 fs	< 65 fs	< 50 fs	< 65 fs
平均出力	> 1100 mW @ 1 MHz > 800 mW @ 2 MHz	> 800 mW @ 1 MHz > 500 mW @ 2 MHz	> 1000 mW @ 1 MHz > 700 mW @ 2 MHz	> 700 mW @ 1 MHz > 400 mW @ 2 MHz
GDD制御範囲 ³⁾	–4000 to +9000 fs ²	–12000 to +3500 fs ²	–4000 to +9000 fs ²	–12000 to +3500 fs ²
ビーム径 ⁴⁾	2 – 4 mm			
ビーム品質 (M ²)	< 1.2			
ビーム楕円率	> 0.8			
ビーム拡がり角	< 1 mrad			
ビームポインティング安定性	< 100 μrad			
長時間出力安定性 (24時間) ⁵⁾	< 1%			
パルスエネルギー安定性 (1分) ⁵⁾	< 1%			

GDD制御なしのメイン出力

平均出力 ⁶⁾	> 1500 mW @ 1 MHz > 1000 mW @ 2 MHz	> 1050 mW @ 1 MHz > 700 mW @ 2 MHz	n/a
--------------------	--	---------------------------------------	-----

その他の出力

補助の1030 nm増幅器出力	1030 ± 10 nm、最大40 W、最大2 MHz、< 250 fs		
オプションの1030 nmオシレータ出力	1030 ± 10 nm、最大500 mW、約65 MHz、約200 fs		

1) 波長可変範囲が650～920 nmに拡張された2P+3P構成もご提供できます。弊社にお問い合わせください。

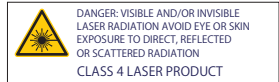
2) 繰り返し周波数を低くしてパルスエネルギーを高くするオプションがご利用いただけます。

3) 連続分散制御：–3000 fs²で+3000 fs²の顕微鏡を補正。

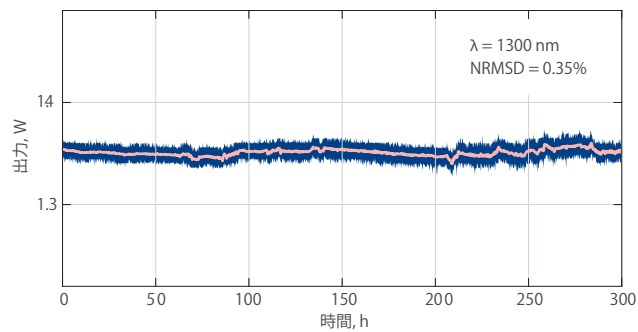
4) 1/e² (コンプレッサ後出力にて測定)

5) NRMSD (正規化平均二乗偏差) 値。

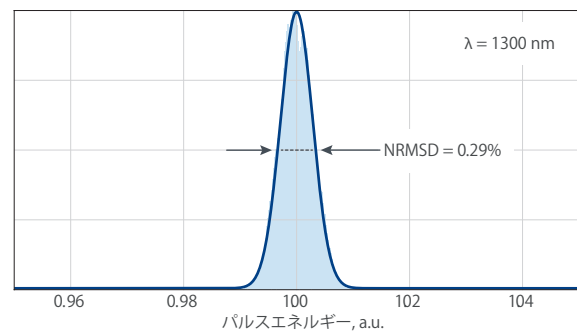
6) v1のみ値です。詳細については、弊社にお問い合わせください。



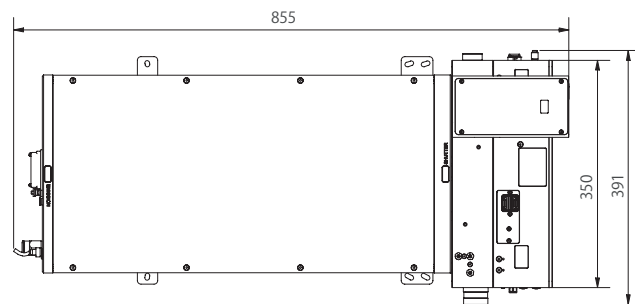
長時間パルス安定性典型値 (波長：1300 nm)



パルスエネルギー分布典型値 (波長：1300 nm)



CRONUS-3P 外形図



ビームプロファイル (波長：1300 nm)

